

令和４年度 独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構 事業評価監視委員会  
第２回委員会 議事録

１．日 時：令和５年３月３日（金）１０時００分～１２時００分

２．場 所：独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構東京支社会議室

３．出席者：家田委員長、岩倉委員、楓委員、屋井委員、渡部委員

４．議事

（１）第１回委員会議事録の確認 について

- 第１回委員会の議事録は了承された。

（２）北海道新幹線（新函館北斗・札幌間）事業の再評価報告書（案）について

- 第１回委員会意見を踏まえ、北海道新幹線（新函館北斗・札幌間）事業に関する事業評価報告書（案）について鉄道・運輸機構より説明。修正内容について了承を得た。

（３）北海道新幹線（新函館北斗・札幌間）事業の再評価について

- 事業継続が妥当
- 委員からの主な意見
  - 予期せぬ自然条件への対応等により事業費が増嵩となったが、プロジェクト推進体制の強化、技術委員会の活用、リスクマネジメントの仕組みの構築等の取り組みを行っていることを確認した。
  - 今後も事業環境の変化や課題の発生に対応できるよう、十分に調査を行い、リスク対応に努めるとともにコスト縮減に努めること。
  - 本事業は時間短縮効果に伴う交流人口の拡大、他事業との相乗効果、インバウンド観光客への寄与、環境負荷の低減、安定輸送の確保等の観点から事業の必要性及び重要性は高い。
  - 本事業の推進と共に、駅周辺整備や二次交通のアクセス性向上等、本事業の効果を高める取組みが、本線区沿線及び北海道全体の発展に寄与するものとなり、それら関連事業を担う各自治体、地元観光協会、鉄道事業者等の関係者との連携をこれまで以上に深めることが重要である。